

第2回福山市営競馬場跡地利活用検討懇話会 議事概要

1 日 時

2013年（平成25年）11月20日（水）19:00～20:40

2 場 所

福山市役所本庁舎3階 大会議室

3 出席者

石川委員，岡島委員，奥山委員，垣木委員，北村委員，喜多村委員，平委員，武井委員，津田委員，土屋委員，壺井委員，福万委員，富士委員，藤井委員，三島委員，宮上委員，村上委員，森近委員，山本委員，和田口委員

4 議事要旨

- 「市民アンケート調査結果」について，事務局から説明が行われた後，委員より意見が出された。
- 「跡地を取り巻く環境の整理」，「跡地利活用の方向性・導入機能のイメージ」について，事務局から説明が行われた後，委員より意見が出された。

（意見の概要）

市民アンケート調査結果について

- 今の若い世代の人たちが将来的な視点から考えた時に，どのように捉えているかが問題である。年齢階層別の魅力・課題がどのようになっているかを知りたい。
⇒ 年齢別の魅力と課題について，今後，分析を行う。求める機能では，10から30代で，娯楽・レジャー機能や商業機能が多く，それに対して高齢者層では，スポーツ・健康機能や公園・広場・緑地機能が多い。
- アンケート調査対象は3,000人無作為抽出で，回答率が40.2%というのは評価して良いのか。
⇒ 本市の総合計画や他のアンケート調査では，平均40%前後である。アンケート調査は統計的に処理することになるが，一定件数以上になると同様の傾向となる。今回1,200件のサンプルが回収できたので，分析する資料としては十分であると思っている。

跡地を取り巻く環境の整理，跡地利活用の方向性・導入機能のイメージについて

- 福山市スポーツ振興審議会の答申は，老朽化している体育館を廃止して，武道場機能を備えた総合体育館が良いという内容であった。教育委員会が12月に基本計画を策定した後，新年度以降，具体的な整備計画を作成するということである。

1回目の懇話会では，競馬場の跡地だけをどうするか，市全体の老朽化した公共施設の集約や体育館の老朽化対策も含めた議論もあるという意見があったが，懇話会の位置付けをど

う理解すれば良いか。

- 競馬場跡地は企画政策課で、体育館は教育委員会で検討する事になっているが、市内部で今後どう関連付けようとしているのか。

⇒ 教育委員会の動きは承知している。単純に体育館の建て替え用地として考えるのではなく、ゼロベースで皆さんの意見を伺いながら方向性を出していきたいと考えている。

競馬場跡地は全市的な課題と考えている。主な行政課題の方向性の取りまとめに当たって、行政内の各部署で横の連携を図っている。今後、懇話会の議論も踏まえて調整する。

- 市民ニーズと福山市スポーツ振興審議会の方向性が一致している状況の中で、懇話会は将来的に総合体育館以外の施設に結論が到達する可能性はあるのか。

⇒ 体育館をとという声大きいことは認識しているが、現段階で決定はしていない。今後、十分考慮させていただこうとは考えている。

- 導入機能を選ぶにあたって、どのような施策になっているのか整理をしないことには、この施設を持ってくることによって全体が活性化するといった方向性が見えてこないのではないか。創造・交流機能にしても、産業支援機能についても市内には県の施設も含めて色々ある。それらをどのように見ていくか、選んでくる機能と結びつきがないといけないと思う。8つの機能について、分析を行い課題が見えてこない結論が出てこないのではないのか。

⇒ 例えば、公園を造るとなると、近くに緑町公園やばら公園がある。駅周辺には福山城公園があり、主となる機能をどのようにするかを考えていかないといけない。市民アンケートで最も多かった意見が公園というのも事実である。それをベースに考えないといけないと思っている。

- この機能の中で、どういう課題があるのか分かることによって、それを補うものなのか、現状で十分なのかがはっきりしてくると思う。競馬場跡地に持つてくるのは何が一番良いかを選ぶ時に、どういった課題があり、その課題が解決でき、皆さんのためになるといった発想で考えていかないといけない。施設が足りる、足りないからというだけでは100年を見越したものにはならない。

体育館が老朽化しているから体育館を整備するのではなく、スポーツ・健康機能を導入しようとする、どういった課題があるのかをはっきりさせた中で、競馬場跡地に持つてくることによってその機能を補えるのではないのかということが見えてくるのではないかと思う。そういう整理の仕方をした資料があると良い。

⇒ 中心市街地の一部地域を見ているわけではなく、市全体、もしくは県東部全体を見渡したものと市行政課題があり、懇話会の意見も踏まえて、総合的なものを考えていきたいと思っている。

- 市のブランドや知名度の向上、グローバル化の問題等、挙げられている課題を2つ3つ解決できるようなものを整備する必要があると思う。国際大会を行おうとすると、練習場の体育館と観客席のある体育館と2ついる。少なくとも中国地方5県では福山の体育館に行けば国際大会の基準で大会ができるというものが必要である。室内競技で一番とすると集客力も出てくる。

現在、文化施設である福山城の中にテニスコートがあるが、少なくともそこにあるべきで

はないと思う。福山市にはテニスコートが散在している。テニスの国際大会をするのであれば福山、そして、福山城の方は文化施設を今以上に充実させるという一石二鳥の形でグローバル化をめざしていくべきである。福山の知名度・集客力を上げるという意味からはそのようなものを持ってくるべきだと思う。

体育館を建て替えるにしても、50億前後のお金がかかると思うが、体育館跡地は売却すれば良いと思う。商業施設は持ってくるべきではないと思うが、住宅団地か何かに売却すれば良いのではないかと。財源も考えないといけない。

最大限福山の知名度・集客力・ブランド力を上げる、グローバル化を出していくというものを、段階的に進めていくべきである。

公園も大事であるが、散らばっているのもどうかと思う。財政の問題で、とりあえずは公園にするべき時期もあるかもしれないが、野球場ができては仕方ないと思う。陸上競技場も現状で良い。スポーツでも、岡山には少なくとも勝てる、日本一ではなくても西日本一であるというものを何か出していき、文化施設も充実させるという一石二鳥を考えていかないといけないと思う。

⇒ 検討していくためにもう少しそのような資料を提示していれば良いと思う。今後、機能を絞り込んで説明するときには、参考となる資料を添付させていただく。

できるだけ機能がお互い連携して一石二鳥、三鳥といった考え方も、機能による。一体的に面的整備を行えるかもしれないし、何十億となれば暫定利用という考え方もある。それも機能が絞られた段階でいろいろな考え方を提示できるのではないかと考えている。忌憚のない意見を聞かせていただいて、段階的に固めていきたいと思う。

○ 医療界の事例であるが、医学界には学会活動がたくさんある。全国大会はほとんど神戸、東京、横浜、まれに福岡。要するに6,000~10,000人規模の宿泊ができないようなところでは開催できない状態。国際規模、全国規模、中国地方のどのレベルを目指すのかは絞っておかないと中途半端な形になるし、宿泊機能も関係してくる。医師会関係の講演会では備後圏から聞きに来てもらうとなると駅前のホテルとなるが予約は1年先まで埋まっている状況。

医療施設は競馬場跡地近隣にあるが、関連して何かできるかとなると厳しい。むしろ現在問題となっているのは、看護師の養成定員が広島県下の平均の2/3しか確保されていない(広島市の約半分)。市民病院も看護師を確保できていないため、病床もすべて活用できていない状態になっている。医師会や平成大学を卒業して福山市に残るのはおそらく半分程度。今後そのまま進行すると、医療崩壊が起こってしまいかねないという状況。医療従事者の養成も、競馬場跡地ではないといけないというわけではないが、こういう地域に集まってきていただけるような機能を整備することが必要。子育て支援も含めて、高齢化すればさらに大変な状況になるという視点も持っていただきたい。

○ 競馬場は福山の発展に大きく貢献した施設である。その担った役割を後世に伝えていくべきだ。また、これからの100年、子どもや孫の世代で福山の発展のために土地が必要となった場合に備えて、跡地を残しておくというのも一つの選択肢ではないかと思う。

⇒ 機能によると思うが、一度にするのか、または段階的にするのか、市のポテンシャルとして次の福山の発展のために残していくというのも一つの考え方だと思う。アンケートの自由

意見の中にも競馬場のメモリアル的なものという意見もあり、それらも参考に考えていきたい。

- 競馬場が長い間、街を支えてきたことには感謝しないといけない。跡地にはできればホースパークをイメージして、ばら公園と並ぶ優しいマインドを形成するような場となって欲しいという意見が団体の中で多い。公園・広場・緑地機能というのは、アンケート結果でも多いので、できれば競馬場であったことが分かるようなものとしていただきたい。

体育館の問題が出ているが、今朝の新聞でも方向性として5つ挙がっている。そういった施設ができれば良いと考えている。

⇒ 集う場が一つのキーポイントと考えている。その中で行政課題解決との相乗効果を考えていくことになると思っている。

- アンケートの利活用のテーマで、一番多くの方が「市内外から多くの人を訪れる」と回答している。つまり、住民サービスばかりを求めているのではないという結果であり、福山市外からも多くの人々が福山を訪れたいと思うものを多くの方が求めているということだと思う。単なるリプレイスではなく、付加価値があることによって福山のブランドの創造になるのではないかと思うし、そういった施設があることによって街に対して市民が誇りを持つことになるのではないかと考えている。ほかの街の人がうらやむようなものを付加価値としていく必要があると思う。

- 4 ページの基本構想に求める機能と 3 ページのアンケートの「期待する効果」の結果が整合しているのではないかと思う。基本構想に求める機能の中で行政課題を解決するものに対応する部分がないので、国・県・市の上位計画とどう組み合わせると構成すると需要予測と採算性をはじき出せるのかと考えていたが、そこに対する道筋の提案があればよいと思う。

⇒ 市の上位計画では、最上位に総合計画、その下に様々な分野の計画があるが、今回の競馬場の基本構想を考えていく中ではそれらも含めて検討していきたいと考えている。

以上